



2020年7月27日

各位

会社名 マックス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 黒沢 光照  
 (コード番号 6454 東証第一部)  
 問合せ先 執行役員総務部長 北谷 明雄  
 (TEL 03-3669-8106)

(訂正・数値データ訂正)「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2020年5月13日に開示いたしました「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に一部誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします(訂正箇所は\_\_\_\_線で示しております)。また、数値データ(XBRL)にも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の理由

「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の発表後に、記載内容について一部誤りがあることが判明したため、訂正するものであります。

2. 訂正の内容

(1) サマリー情報

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

【訂正前】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	<u>8,196</u>	<u>△5,916</u>	△2,411	21,849
2019年3月期	7,814	△6,384	△2,824	22,190

【訂正後】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	<u>8,330</u>	<u>△5,986</u>	△2,411	21,849
2019年3月期	7,814	△6,384	△2,824	22,190

(2) 添付資料 7, 8 ページ

1. 経営成績等の概況

(2) 当期の財政状態の概況

②連結キャッシュ・フローの状況の分析

【訂正前】

連結キャッシュ・フロー計算書 要約

(単位：百万円)

区 分	2019年3月期	2020年3月期	増減
現金及び現金同等物の期首残高	23,722	22,190	△1,532
営業活動による収支 (△は超過額)	7,814	<u>8,196</u>	<u>+381</u>
投資活動による収支 (△は超過額)	△6,384	<u>△5,916</u>	<u>+467</u>
財務活動による収支 (△は超過額)	△2,824	△2,411	+413
現金及び現金同等物に係る換算差額	△137	<u>△208</u>	<u>△70</u>
現金及び現金同等物の増減額	△1,532	△340	+1,192
現金及び現金同等物の期末残高	22,190	21,849	△340

キャッシュ・フローの状況の分析

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の期末残高は、現金及び現金同等物の増減額が3億4千万円減少したことにより、218億4千9百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金の増加は、81億9千6百万円となりました。主な増加は税金等調整前当期純利益が74億3千2百万円、減価償却費が24億6千6百万円、一方で主な減少は、法人税等の支払額が23億1千万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金の減少は、59億1千6百万円となりました。主な減少は、有価証券及び投資有価証券の取得による支出が86億2千万円、有形固定資産の取得による支出が27億2千2百万円、一方で主な増加は、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入が54億6千6百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金の減少は、24億1千1百万円となりました。主な減少は、配当金の支払額が21億5千2百万円です。

なお、当企業集団のキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりです。

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	72.2	74.3	75.2	76.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	78.4	70.0	81.1	81.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	0.3	0.4	0.3	0.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	185.6	172.7	236.1	<u>207.7</u>

## 【訂正後】

## 連結キャッシュ・フロー計算書 要約

(単位：百万円)

区 分	2019年3月期	2020年3月期	増減
現金及び現金同等物の期首残高	23,722	22,190	△1,532
営業活動による収支 (△は超過額)	7,814	8,330	+515
投資活動による収支 (△は超過額)	△6,384	△5,986	+397
財務活動による収支 (△は超過額)	△2,824	△2,411	+413
現金及び現金同等物に係る換算差額	△137	△272	△134
現金及び現金同等物の増減額	△1,532	△340	+1,192
現金及び現金同等物の期末残高	22,190	21,849	△340

## キャッシュ・フローの状況の分析

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の期末残高は、現金及び現金同等物の増減額が3億4千万円減少したことにより、218億4千9百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金の増加は、83億3千万円となりました。主な増加は税金等調整前当期純利益が74億3千2百万円、減価償却費が24億6千6百万円、一方で主な減少は、法人税等の支払額が23億1千万円です。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金の減少は、59億8千6百万円となりました。主な減少は、有価証券及び投資有価証券の取得による支出が86億2千万円、有形固定資産の取得による支出が27億2千2百万円、一方で主な増加は、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入が54億6千6百万円です。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金の減少は、24億1千1百万円となりました。主な減少は、配当金の支払額が21億5千2百万円です。

なお、当企業集団のキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりです。

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	72.2	74.3	75.2	76.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	78.4	70.0	81.1	81.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	0.3	0.4	0.3	0.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	185.6	172.7	236.1	211.0

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018 年 4 月 1 日 至 2019 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 2019 年 4 月 1 日 至 2020 年 3 月 31 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	7,124	7,432
減価償却費	2,262	2,466
負ののれん償却額	△7	—
減損損失	11	21
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
のれん償却額	138	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11	△22
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	2	△0
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	83	△25
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	201	130
受取利息及び受取配当金	△213	△222
支払利息	38	39
為替差損益 (△は益)	△4	△26
固定資産廃棄損	191	212
固定資産売却損益 (△は益)	△59	△16
過年度関税還付額	—	△217
投資有価証券売却損益 (△は益)	△10	△315
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	288
ゴルフ会員権売却損益 (△は益)	△5	—
従業員預り金の増減額 (△は減少)	68	△78
売上債権の増減額 (△は増加)	441	701
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△676	△94
仕入債務の増減額 (△は減少)	△23	△393
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△18	246
その他の資産の増減額 (△は増加)	△92	110
その他の負債の増減額 (△は減少)	2	△199
小計	9,444	10,037
利息及び配当金の受取額	304	290
利息の支払額	△33	△39
法人税等の支払額	△1,901	△2,310
過年度関税の還付額	—	217
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,814	8,196

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△9,182	△8,620
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	5,913	5,466
有形固定資産の取得による支出	△3,156	△2,722
有形固定資産の売却による収入	72	153
無形固定資産の取得による支出	△76	△177
貸付けによる支出	△14	△57
貸付金の回収による収入	53	42
ゴルフ会員権の売却による収入	6	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,384	△5,916
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△532	△1
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△2,068	△2,152
非支配株主への配当金の支払額	△0	△1
リース債務の返済による支出	△223	△257
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,824	△2,411
現金及び現金同等物に係る換算差額	△137	△208
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,532	△340
現金及び現金同等物の期首残高	23,722	22,190
現金及び現金同等物の期末残高	22,190	21,849

## 【訂正後】

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	7,124	7,432
減価償却費	2,262	2,466
負ののれん償却額	△7	—
減損損失	11	21
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
のれん償却額	138	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11	△22
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	2	△0
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	83	△25
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	201	130
受取利息及び受取配当金	△213	△222
支払利息	38	39
為替差損益 (△は益)	△4	47
固定資産廃棄損	191	212
固定資産売却損益 (△は益)	△59	△16
過年度関税還付額	—	△217
投資有価証券売却損益 (△は益)	△10	△315
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	288
ゴルフ会員権売却損益 (△は益)	△5	—
従業員預り金の増減額 (△は減少)	68	△78
売上債権の増減額 (△は増加)	441	701
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△676	△94
仕入債務の増減額 (△は減少)	△23	△393
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△18	246
その他の資産の増減額 (△は増加)	△92	232
その他の負債の増減額 (△は減少)	2	△262
小計	9,444	10,171
利息及び配当金の受取額	304	290
利息の支払額	△33	△39
法人税等の支払額	△1,901	△2,310
過年度関税の還付額	—	217
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,814	8,330

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△9,182	△8,620
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	5,913	5,466
有形固定資産の取得による支出	△3,156	△2,722
有形固定資産の除却による支出	—	△69
有形固定資産の売却による収入	72	153
無形固定資産の取得による支出	△76	△177
貸付けによる支出	△14	△57
貸付金の回収による収入	53	42
ゴルフ会員権の売却による収入	6	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,384	△5,986
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△532	△1
自己株式の処分による収入	—	0
配当金の支払額	△2,068	△2,152
非支配株主への配当金の支払額	△0	△1
リース債務の返済による支出	△223	△257
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,824	△2,411
現金及び現金同等物に係る換算差額	△137	△272
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,532	△340
現金及び現金同等物の期首残高	23,722	22,190
現金及び現金同等物の期末残高	22,190	21,849

以上